



運営委員長
藤江修さん
全矢崎労働組合 浜松支部
執行委員長

副運営委員長
松本晃司さん
スクロール労働組合
委員長

副運営委員長
藤原信夫さん
ヤマハ労働組合 天竜支部
執行委員長

浜松東支店 HAMAMATSU HIGASHI SHITEN

このコーナーでは、独自の活動を展開する運営委員会の様子を紹介していきます。



副運営委員長
内藤武史さん
ソミック石川労働組合
書記長

副運営委員長
廣野真也さん
共和レザー労働組合
中央副執行委員長

澤島和弘さん
浜松東支店
支店長



運営委員会とは...

会員(組合)の代表者と「ろうきん」の営業店職員で構成される組織。「ろうきん」の運営を民主的に行うため、理事会に向けて各員の率直な意見を発信するとともに、理事会で決定した方針や事業計画を各営業店の立場から、より具体化して地域会員・勤労者に展開しています。

支店開設30周年で業績V字回復!

新入社員の研修や
定年退職前の面談は大切な機会

藤江/浜松東支店の会員労働組合は一番大きい組織が組合員1,000名ほどで、他は100名から500名規模の組合が多く、支店の運営にあたる運営委員会には、15名に参加いただいています。毎月の運営委員会では報告会にならないことを心がけ、分散会などを開催しながら「話す」機会を増やしています。この2年間にメンバーの入れ替わりが多くありましたが、人が代わっても、コミュニケーションを取り合い、互いの活動を参考にしながら、浜松東支店の業績回復に繋がった活動ができたと思います。昨年度は営業目標の主要7項目を全て達成できました。



浜松東支店での新入社員研修の様子

廣野/具体的な活動として、昨年度は昼休みに簡単なアンケートに答えてもらう企画を実施しました。「ろうきん」職員と組合員が出会う機会を増やすことが目的です。「ろうきん」を利用する人を増やすには、まず、職員に会って良い商品や制度を正確に知ってもらうことが大事です。また、毎年実施している事ですが、新入社員説明会で会社から時間をもらって「ろうきん」の説明をしています。早いうちに「ろうきん」を身近に感じてもらえる機会を作る事が利用の拡大に繋がっていると思います。澤島/当支店の特徴として、新入社員研修の中で「ろ



ヨガ教室

うきん」の店舗を見学したり、研修会場を支店会議室にしていただいている組織が多数あります。新入社員の皆さんには貴重な体験だと思えますし、労働組合が集まって「ろうきん」の事業を産み育てている事を何となくでも実感してもらえる機会だと思えます。今年も3月から6月にかけて多く組織で実施して頂いています。このような企画の地道な実施が業績回復の根底にあります。

内藤/私どもの組織では新入社員研修の一環で20名ぐらいがバス移動して「ろうきん」の支店見学を実施しています。参加者も環境が変わり直接話が聞けるので理解も深まります。「ろうきん」会議室で「ライブプランセミナー」も同時開催していただけて、貯蓄などに興味を持つ機会になっています。

松本/私は「ろうきん」の利用促進活動をなぜ組合員役員がするのか?と運営委員会になる前は正直疑問に思っていました。しかし商品や活動を知ると「組合員やその家族」のためになることが実感できて、今では積極的に「ろうきん」運動に取り組んでいます。私の組合では、年金セミナー・退職金準備セミナーなどを企画・実施しています。また、一時金の季節には独自で景品を配るキャンペーンを行いました。もっとも大切なのは、こういった企画やイベントの勧誘を私自身がすることです。現場で組合員に会ったり、声を掛けたりしないと活動は良い方向に発展していかないと感じています。役員が組合員に「コンタクト」をする活動が重要です。

活動のキーワードは「コンタクト」

藤江/「組合員⇄組合員⇄組合員⇄ろくきん職員⇄職員」この3者の間で「コンタクト」する、言い換えれば繋がりが合わない、本場に役に立つ事業になっていかないと思っています。

内藤/組合役員は、「ろうきん」職員と組合員のパイプ役だと思っています。夜勤・残業・休日など個々の勤務の状況に合わせて、「コンタクト」することが仕事だと思っています。私たちが組合役員は、組合員と話せるタイミングを知っているので、機会を逃さないように上手く「コンタクト」をすることを心がけています。

藤原/浜松東支店の運営委員会では「ろうきん」の活動以外にも、組合イベントの成功事例などの情報交換が盛んに行われています。それが、組合員と組合役員の「コンタクト」活動の増加に繋がる事もあります。例えば昨年はキーキッキングを実施しました。

廣野/他にもヨガ教室もやったり、組合主催の夏祭りなどで共有化している企画がありますよ。

熱い運営委員!
熱い職員!

藤江/運営委員が交代しても、なぜか気持ちよいメンバーが集まり、仲良く盛り上がるのが伝統になっています。松本/運営委員長や支店長が話しやすい雰囲気を作ってくれています。忌憚のない意見交換がされ、双方で情報交換ができる、風通しの良い会です。

澤島/鳥渡がましいですが、運営委員の皆さんには、議論ばかりに留まらずに職場活動が疎かにならないように、組合員とコンタクトしてくださいとお願ひしています。

組合員に会って話をしないと、何に困っているか?何を相談したいか? ニュアンスはつかめなと思います。「ろうきん」運動に限らずそうだと思います。ともかく職場で動く!ことを熱く実践して頂いています。

藤原/私の職場では定年退職者全員に合ってもらおう事を目標に、私が直接、声かけをしています。ろうきんの担当職員からは、「お礼だけでも言わせて」と熱くお願いされています。支店長の真心のこもった手書きのポスターは熱くて捨てられないです。

澤島/ありがとうございます。「暑苦しい」ということではない」とポジティブに捉えることにします。それとこのポスター、一応、組合役員さんが書いている事になっていますので...

藤江/今年も「コンタクト」活動を増加させ、「ろうきん」があつて良かった、組合員から喜んでもらえるように、現場で、ともかく動きましょー!

次回は
どの支店に
訪問するかお楽しみに!

